

高齢化社会の課題解決に向けた取り組みについて

～自治体事業取り組み事例～

2018

- ◆事業名：ロボット等介護機器導入モデル事業
- ◆自治体：宮城県
- ◆目的：ロボット等介護機器やIT機器を導入し、作業効率に着目し、効果的・継続的に活用していくモデル施設を構築。他の介護事業者へロボット等介護機器の導入活用を体感してもらうことで、介護現場へのロボット等介護機器の導入を身近に感じさせるとともに、モデル施設を参考とした施設の課題解決型のロボット等介護機器の導入を促す。

2019

- ◆事業名：集合住宅等における既存資源活用型の介護機能構築に向けた実践調査事業委託業務
- ◆自治体：宮城県
- ◆目的：～住み慣れた自宅（集合住宅）で最期まで暮らし続けられる体制づくりに向け～要介護状態になっても最期までその人らしく、生きがいや楽しみを持って、自宅（集合住宅）で暮らし続けられる体制について、モデルケースを題材にして、具体的な各パターンにおける「現段階で、あり得る一形態」を示すとともに、将来的な社会実装を見据えた一般化の方向性についての検討を行う。当社は健康機器やコミュニケーションツールを提供し、地域・コミュニティで一緒に楽しみながら健康に関心を持つことでHAPPYになるきっかけ作りを支援した。

2019

- ◆事業名：2025年問題に向けた課題解決型ヘルスケアサービス創出実証事業
- ◆自治体：青森県
- ◆目的：～患者と家族を24時間体制で支え、見守る、在宅医療・介護支援システム～多職種協働による包括的かつ継続的な在宅医療・介護の提供体制をSNSアプリケーション+デジタルペンの連携をもって補完し、質の高い在宅医療・介護をより効率的に提供する為に関係機関の連携による24時間どこからでも患者情報が「見える・見守る・伝えられる・保管できる」の構築や多職種+家族による情報共有の促進。

2020

- ◆事業名：青森県介護ロボットICT導入支援モデル事業
- ◆自治体：青森県
- ◆目的：介護分野における生産性向上は、職場環境の改善や人材確保の観点から、重要な課題であり「未来投資戦略2018」において介護分野におけるICT化は効率化・生産性向上の取り組みと一体として導入を促進する。

2020

- ◆事業名：ヘルステックを核とした健康まちづくり連携協定「IoTを活用したみまもりサービス」
- ◆自治体：青森県

2021

- ◆目的：市民の健康課題を最新のヘルステックにより解決しようとするものであり、青森市と株式会社フィリップス・ジャパンに加え、地元企業ならびに全国区のヘルスケア関連企業等で構成する「あおりヘルステックコンソーシアム」を設立した。コンソーシアムでは、参加企業の強みを生かした全国初となる「モビリティを活用した予防サービス」と「IoTを活用したみまもりサービス」を令和2年度から実施しており、これらサービスで得られる健康データを蓄積・分析する拠点として「あおりヘルステックセンター（青森市立浪岡病院内）」を設置し、新たなサービスを企画・提供していく。

2022

2023